

平成30年6月12日招集
第3回小坂町議会（定例会）

発 言 通 告 書

平成30年第3回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

平成30年6月13日（水） 午前10時開議

◎ 一 般 質 問

(1) 1番 鹿兒島 巖 君

(2) 8番 成 田 直 人 君

(3) 3番 本 田 佳 子 君

(4) 9番 椿 谷 竹 治 君

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	1	鹿兒島 巖	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 国保の県単位化にかかわって</p> <p>2. 町政報告にかかわって</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 4月から国保の都道府県単位化が始まり、保険料については小坂町は据え置きで初年度としたが、しかし次期改定時には国保の構造問題が根本的に解決なされない限り引き上げが不可避と考える。</p> <p>国保加入者の負担軽減と「構造問題」に対する取り組みが求められている。</p> <p>(1) 町の独自施策として子どもの均等割の軽減、多子世帯、ひとり親世帯、障害者・児の居る世帯、収入が生活保護基準前後の世帯などへの負担減免の適用を。</p> <p>(2) 他の自治体と連携して</p> <p>① 国保への定率国庫負担の引き上げ</p> <p>② 子ども医療費の無償化を国の制度として創設</p> <p>③ 子どもの均等割の軽減</p> <p>④ 障害者・児、ひとり親家庭などを含む自治体の医療費無料化の取り組みに対するペナルティーの全面中止以上などを国に求める取り組みを。</p> <p>1. 町政報告の中で、「町長との懇談会」を開催し、総勢70名の参加とあったが、出された意見などの内容について情報公開が必要と考えるがどうか。</p> <p>2. 松戸市の一般廃棄物受け入れの再開決断の報告に対して、特段の反対意見もなく、町民から理解を得たものと判断し、松戸市にその旨を正式に回答したとあったが、議会に報告してから回答すべきでなかったか。</p> <p>3. 昨年12月議会の一般質問で、松戸市の問題、処理水問題などを含め、放射性廃棄物問題の経過について町民への説明会をと提言したことを踏まえての今回の対応であったと受け止めているが、処理水問題に触れなかったのはなぜか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
2	8	成田直人	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 鹿角三校統合について</p> <p>2. 降雪期の除雪について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 鹿角小坂地区高等学校統合に関する協議会が提出した報告書について、町長はどのように評価されておられるか。</p> <p>2. 平成30年度中に統合校の骨子案がまとめられることになるが、設置場所については、鹿角市及び当町との協議が大きなウエートを占めることとなります。町長はこのことをどのように捉え、どう結びつけたいのか、そのお考えをお示し下さい。</p> <p>1. 本年3月に各自治会長に対して雪対策アンケートが実施されたが、このことに関し次の質問にお応え下さい。</p> <p>(1) アンケートで得られた回答について、まとめた資料をご提示いただきたい。</p> <p>(2) 自治会代表者からの声を今後どのように反映するのか、現段階での町の方針をお示しいただきたい。</p>		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出 席 要 求 者
3	3	本 田 佳 子	一 般 質 問	町 長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 再生可能エネルギーについて</p> <p>2. 町営住宅の今後について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 以前に質問をした際、小水力発電について砂子沢ダムの土砂崩壊のため、正式な着工時期が明示できないとの回答でした。あれから2年経過しましたが現在の状況をお聞かせ下さい。</p> <p>2. 小水力以外に再生可能エネルギーを利用する考えはあるか。</p> <p>1. 現在の町営住宅の経過状況をお聞かせ下さい。 合わせて今後どのように維持管理していくのかお知らせ下さい。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
4	9	椿谷竹治	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 人口減少対策について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 国は平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、県も平成27年10月「あきた未来総合戦略」を策定した。町としてはその方向性に現状と課題、そして町民の声を加味して「小坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、平成28年3月に議会に示されたと思っています。</p> <p>(1) この「小坂町総合戦略」は人口減少対策の重点施策を3つの基本目標として方向性を示しているが、本日は基本目標2の「ひと」移住定住促進プロジェクトを主に質問いたします。</p> <p>① 数値目標にある東京圏から本町への移住者数、5年間で120名の根拠は何か。</p> <p>② 若者定住促進住宅「岩ノ下ハイツ」が29年度完成入居したが、町内在住の申込者への対応とその後の状況はどうなっているか。</p> <p>③ 町有地を無償貸与し民間による賃貸共同住宅及び社宅を整備し、就労者の町内定着を促すとある事業の進捗状況は。</p> <p>(2) 人口減少によって総合計画、福祉総合計画にある協働のまちづくり、互助、共助、ボランティア活動の先行きに不安を感じるが、自信のほどを聞かせてほしい。</p>		